

2025
Vol.38
(Summer)

看護大から こんにちは

CONTENTS

理事長・学部長からのメッセージ	1
学生部長・研究科長からのメッセージ	2
新任教員紹介	3
公孫樹祭(大学祭)報告	4
短期奨学金海外研修プログラムの紹介	5
卒業生からのメッセージ	6
サークル紹介(手話サークル)	7
宮崎県立看護大学公式 SNS 紹介	7

令和7年度 宮崎県立看護大学入学式



理事長からのメッセージ

理事長就任に当たって

理事長 米良 勝也

みなさま、こんにちは。

この春、理事長に就任しました米良です。満開の桜や青々とした木々に迎えられ、緊張の中にも清々しい気持ちで着任させていただきました。

これまで38年間、県職員として県行政に携わってまいりました。本学での勤務は初めてとなりますが、医療・看護に関しましては、県立病院事業に約10年間携わり、特に令和2、3年のコロナ禍での勤務となった県立宮崎病院では、県民医療を支える環境の整備・充実の重要性はもとより、改めてチーム医療の大切さを学ばせていただきました。この人と人との連携し支え合って事をなすというあり方は、医療に限らず、社会全般で必要不可欠なことではないかと思えます。

まもなく開学30年を迎えようとしている節目に、本学の運営に携わらせていただくこととなり身の引き締まる思いですが、教育・研究・地域貢献はもとより、学生の皆さんや教職員など本学に関わる全ての方々が人と人との結びつきを大切にし、また、それを学べる大学でありたいとの思いを胸に、微力ながら全力を尽くしてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



学部長からのメッセージ

地域の健康を支援する専門職者として成長できる環境づくり

学部長 田中 美智子



この度、学部長としての役割を担うこととなりました。本学は開学以来、「地域の健康ネットワークを活用しながら、地域の人々が、自分自身でより健康的な生活が出来るように援助できる看護職者の育成」が目標です。この目標の実現に向け、教員が協力しながら教育活動を進めており、学生が自らの力に気づき、それを伸ばしていける環境を大切にしています。

社会の変化に伴い、高等教育の目指すべき姿として、学修者本位の教育の推進、学びの質を高めるための教育内容・方法の改善が求められています。看護学の分野でも、卒業時に身につけるべき能力に焦点を当てた教育カリキュラムを導入する動きがみられています。本学では「対象をよく観察し、対象の状態にあったケアは何かを考え、それを提供する力」を育てるために、これからも教員が連携しながら教育に携わっていきたいと思います。

一人ひとりの学生が卒業時に必要な力を身につけ、社会で自信をもって活躍できるよう支援を続けていきたいと考えています。

学生部長からのメッセージ

活力ある学生活動を取り戻し、成長するために

学生部長 川北 直子

4月より学生部長に就任いたしました。現在の大学4年生は高校時代、1年生は中学時代、コロナ禍の自粛期間を経験し、生徒主体の活動経験を十分に得ることができないまま大学生になりました。各種活動の立て直しには学生と教職員の強い意志と行動力が必要で、大学としてのレジリエンス（困難な状況をはね返し、乗り越え、チャンスに変えて成長する力）が問われているところです。

そのような状況で、自治会役員、各学年の役員、各種イベントの実行委員、サークル幹部等のリーダー達を中心に、学生達が大学に活気を取り戻そうと奮闘しています。教職員も、学生が持てる力を発揮できるよう、支援しています。

一方で、様々な危険から身を守る意識と知識を身につけるため、犯罪被害予防講習、アルバイト法令講習等、色々な研修も行っています。将来、他者の命を守る立場に就く学生たちが、学業はもとより、4年間の学生生活の中で多くの社会経験を積みながら成長してほしいと願っております。



学生自治会執行部のメンバーと（写真中央）



研究科長からのメッセージ

「鉄は熱いうちに！」皆さんの熱意を応援します

研究科長 久野 暢子

令和7年4月より、大学院看護学研究科の研究科長を務めさせていただくことになりました。これまで先生方や院生の皆さんが大切に育ててこられた研究科のバトンを引き継ぎ、身が引き締まる思いでおります。私が好きな言葉に「鉄は熱いうちに打て」があります。ご存じの通り、何かを始めるには良いタイミングがあって、その熱意があるうちにどんどん進めていくことが大切という意味です。大学院は、院生自らが「もっと深く学びたい」「自分の研究テーマを突き詰めたい」という熱い気持ちを持って選択した場所だと思います。その気持ちを大切に、そして何よりも皆さんの柔軟な発想を活かして、学位論文に取り組んでほしいと思います。私たち教員は、その熱意をしっかりと受け止め、全力でサポートします。皆さんの成長を応援できることを楽しみにしています。

新 任 教 員 紹 介

NEW FACULTY INTRODUCTION



専門分野(在宅看護学) 助教 稲田 夏希

私は本学開学2年目から11年間、基礎看護学の教育に携わったのち、訪問看護師として勤務し、4月より在宅看護学に再着任しました。訪問看護師として、在宅療養しながら暮らす方々やご家族、在宅療養を支える多職種の方々と関わらせてもらえた経験は私の宝物です。在宅看護の魅力を学生の皆さんと一緒に共有し、さらに学びを深めていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

専門分野(公衆衛生看護学) 助教 盛田 香織

保健所保健師経験を経て、本学の開学2年目から助手として9年間勤務しておりました。その後、障がい者福祉施設や保育施設等で従事し、今回、戻ってまいりました。緑豊かなキャンパスで再び、教育・研究に携われることを幸せに思います。学生の皆さんへ公衆衛生看護、保健師活動の魅力を精一杯伝えてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



専門分野(成人看護学) 助教 外村 美紀子

4月から成人看護領域に着任しました。一昨年実習補助として臨地実習Ⅱに参加し再び教育の場に携わることになりました。これまで慢性期看護を中心に臨床で看護師として経験を積み、昨年は行政で保健師をしていました。看護は学び続ける学問です。学生のみなさんと学ぶ楽しさを共有し、日々成長していけるよう邁進してまいります。

専門分野(老年看護学) 助教 丸山 加菜

これまで、看護師として県外での臨床経験や開発途上国での長期ボランティア活動を経て、臨地実習指導や国際看護教育に携わってきました。この4月から、老年看護学の教員として務めさせていただきます。自然豊かな地元の宮崎で仕事ができることに感謝し、学生の皆さんとともに学び、成長していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



専門分野(老年看護学) 助教 福添 純子

4月より、老年看護学領域の教員として着任いたしました。これまで、急性期の総合病院で臨床経験を積み、リエゾン精神看護専門看護師として行政機関の地域保健分野にも従事してまいりました。看護教育に携わるのは初めてですが、これまでの看護師経験を活かして、ひなた宮崎の地で、学生の皆さんと一緒に成長し、看護の楽しさ、奥深さを追求していきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

専門分野(基礎看護学) 助手 井ノ上 亜紀

私は学部1期生として本学を卒業した後、急性期病院での臨床経験を経て、今年度より基礎看護学領域の教員として着任いたしました。本学での学びと臨床経験を活かしながら、今後は教員として学生の学びを支え、宮崎の看護を担う人材の育成と研究活動に取り組んでまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



大学祭

公孫樹祭 報告

令和7年5月17日(土)・18日(日)

令和7年度 公孫樹祭実行委員長
市來 仁織



5月17日、18日の2日間にわたり公孫樹祭を開催いたしました。

予報では悪天候だった天気も何とか持ちこたえ、多くの方にご来場いただき、例年どおりの盛り上がりを見せることができました。

今年度は「輪～つながり～」というコンセプトのもと、学生同士のつながりはもちろん、地域の方々やポッチャ協会の方など、様々な方とのつながりを深める良い機会となり、みんなでひとつの輪となって素晴らしい大学祭を作り上げることができました。例年どおりの看護大らしさを全面に出した、心肺蘇生法(CPR)の体験やポッチャ大会などに加え、コロナ禍の影響で近年なかなか行えなかったサークルや仲間同士での出店を再開することができました。少しずつではありますが、コロナ禍前の学祭の形に近づけることができました。

今年度の反省を活かしながら、来年度からの公孫樹祭も、さらにパワーアップできるよう尽力したいと思います。来年度もたくさんの方のご来場をお待ちしております。



出店の様子



ポッチャの説明を受けている様子



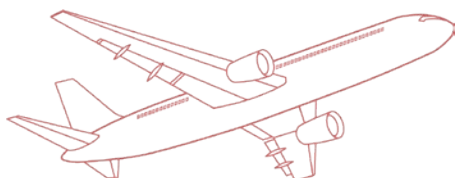
ポッチャの試合を体験している様子



大抽選会の様子



CPR体験の様子



国際交流事業

～短期奨学金海外研修プログラムの紹介～

本プログラムは、意欲のある学生が本学での学びを土台とした短期留学を自ら企画し、審査の上で経済的支援をするものです。異文化体験や国際交流を通じた海外留学での経験を、大学の学びや看護に活かすことで、国際的な視野を持った看護師の育成を目指しています。令和6年度は2名がフィリピンとカンボジアに渡航しました。

‘人と共に生きていくこと’について考え、 支援の本質について学んだカンボジア研修

浦吉 花

私は、発展途上国で実際に行われている支援を学び、一方通行の支援ではなく、互いに尊重し合える関係を持ち、支え合いながら生きていくために必要とされる支援について考えるために、カンボジアを訪問してきました。

研修中は、医療・教育・経済の格差、残る地雷原など厳しい現実も目の当たりにしました。教育ボランティアやNPO団体サンタピアップの訪問を通し、現地の人々の姿を五感を使って感じたことで、同じときを生きている人々と「共に生きていく」ために自分に何ができるかを考える貴重な機会となりました。

カンボジアで出会った人々から得た学びを忘れず、再会した際に成長した姿を見せられるよう今後の学修に励みます。関わってくださった全ての方々に感謝申し上げます。



折り紙を教えている様子



5歳児クラスの元気な子ども



ボランティアで仲良くなった子どもたち

言語の壁を越えて学んだ異文化コミュニケーション

吉岡 千優

私は、3週間フィリピンに滞在しました。孤児院訪問が印象的でした。最初は恐る恐る接していた子どもたちも、日本の遊びを通して心を通わせ、別れ際には離れがたい様子で強く抱きついてきてくれました。タガログ語を使う子どもたちとは英語でのやりとりが困難でしたが、触れ合うことで交流できると実感しました。

また、家族構成をテーマに結婚観や子供を持つ理由、公衆衛生への関心から健康への意識、犯罪などについてインタビュー調査し、少子高齢化の日本との違いや共通点を発見したり、経済状況や労働力が子供の数に影響するのだと感じたりしました。

この経験は、人生の大きな転換点となる貴重な経験となりました。今後の看護や公衆衛生の学修に活かしていきます。



教会にて



孤児院と一緒に日本の遊びをしている様子



公園のような広場で学校帰りの学生たちにインタビュー

卒業生からのメッセージ

OB & OG Message

保健師

住み慣れた地域で安心して生活するために

えびの市介護保険課 地域包括支援センター 下沖 杏梨さん（令和4年度卒）

学生時代、地域住民と密に関わることでできる市町村保健師の仕事に魅力を感じ、大学卒業後、保健師としてえびの市役所に入庁しました。現在は、地域包括支援センターの3職種の1人として、医療・福祉・介護の知識を活かし、多職種と連携しながら、予防支援や相談対応を行っています。これからも自己研鑽を重ね、市町村保健師として、高齢者の方々が安心して暮らせる地域づくりに貢献できるよう頑張っていきます。

講義や実習など、大変なこともあるかと思いますが、仲間と励まし合いながら、充実した学生生活を送ってください。



助産師

赤ちゃんとその家族を支えられる助産師に

宮崎県立宮崎病院 松尾 あみさん（令和4年度卒）

県立宮崎病院で助産師として働き始めてから今年で3年目となりました。入職してから大切にしていることは、対象者と向き合い話をする中で、その人に合った支援を見つけて提供していくことです。困った時には、周囲の先輩や同期と一緒に赤ちゃんやお母さん、その家族にとって何が最善で大切であるのかを考えながら日々関わらせていただいています。まだまだ未熟で勉強することも多いですが、今後も目の前にいる対象者と向き合い、新しい家族を迎え入れた家族がそこから始まる人生を歩んでいけるように支援していきたいと思っています。



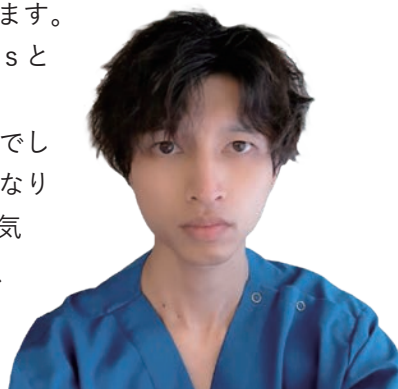
看護師

看護の心を育てて、誰にも負けない武器に

宮崎県立日南病院 永峰 海渡さん（令和4年度卒）

看護師3年目になり、救急、外科、小児などの混合病棟で働いています。業務と並行して看護研究に取り組みながら、プリセプターとして新人Nsと一緒に看護に取り組んでいます。

業務は仕事を始めて失敗しながら上達します。看護の心は大学の講義でしか学べません。看護の心を育むことがあなたの武器になり、やりがいになります。今はあなたなりに、看護師として看護をする意味を探して、その気持ちを大切にしてください。それからもう一つ、趣味や友達を大切に、人生を楽しむために仕事をするのを忘れないでください。いつか看護師として、皆さんと働けますように。





サークル紹介

Club introduction



手話サークル

一緒に手話をしませんか？

こんにちは、手話サークルです！私たちは毎週水曜日に1時間ほど活動しています。皆様の周りに、聴力に障がいをお持ちの方（聴覚障がい者）はいらっしゃいますか？聴覚障がいは外見で判断できないため、「見えない障がい」と言われています。聴覚障がい者のコミュニケーション手段の一つとして“手話”があります。生徒同士で手話を教え合い、毎週の基礎的な内容から、実際の医療現場を想定した手話講座、聴覚障がいを持つ方々との交流会、手話検定への挑戦など、それぞれのペースに合わせ



互いに手話をしている様子



歓迎会で手話を教えている様子

せてみんなで楽しく活動しています。私たちのサークルはメンバーのほとんどが未経験から始めました。これからも、初心者でも楽しく手話を覚えられるようなサークルを目指して活動していきたいと思います！

Follow me!

宮崎県立看護大学公式 SNS 紹介

日常のコマや教育活動、研究活動、地域貢献活動等の様子を発信しています。
ぜひフォローして投稿をチェックしてください♪



MYZK_KANGODAI



宮崎県立看護大学
応援みやぎ犬



宮崎県立看護大学 広報誌

看護大から こんにちは Vol.38

広報誌に関するお問い合わせ／ご意見

〒880-0929 宮崎市まなび野 3-5-1 宮崎県立看護大学
TEL : 0985-59-7700 / FAX : 0985-59-7771
【URL】<https://www.mpu.ac.jp/> 【E-mail】info@mpu.ac.jp



保健師 ひいくん 助産師 むうちゃん 看護師 かあくん

